

第5学年 算数科学習指導案


1 単元名 「多角形と円をくわしく調べよう」 (5年 東京書籍 下)

2 本時の目標 (2 / 10 時間目)

○正多角形をかくプログラミングを通して、正多角形の性質やかくときのきまりに気付くことができる。
【知識・理解】

3 本時の展開

★は ICT 機器活用に関わる事項

繰	学習活動	発問・指示●、児童の反応○	指導上の留意点及び評価	備考
つかむ 7分	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	●これまでどんな図形を学習してきましたか。 ○辺の長さや角の大きさ共に等しい図形。 ●それらの性質を生かして正六角形をかきましょう。	・既習の正三角形、正方形と正六角形の図形を掲示しておく。 ★電子黒板に正六角形を映し出し、本時の課題に対するイメージを持たせる。	既習内容の掲示物 電子黒板
プログラミングを通して、正六角形をかくときのきまりを考えよう。				
かんがえる 10分	2 プログルの基本操作を確認する。 ①個人で考える。 ②3人組で考える。	●プログルを使って、正六角形のかき方を考えましょう。 ○これまでに取り組んだ正方形や正三角形のかき方を生かそう。 ●角度は何度になりそうですか。 ○1つの角度が何度になるかが難しい。 ○このプログラムを繰り返すことで、正六角形ができそうだ。 ●3人組で話し合っ、よりよい多角形のかき方についてまとめましょう。 ○このプログラミングだと正六角形ができそうだね。	★プログルのサイトから、正方形、正三角形の正多角形のかき方を振り返る。 ・見通しの立たない児童には、既習内容を振り返らせる。 ・角度について見通しが立たない児童には、六角形の中心から頂点をつなぎ、正三角に分けられることに気づかせる。 	タブレット端末 ブロック 図 矢印
ふかめる 13分	3 全体発表 ○できた正六角形作図のプログラミングを発表する。	●このプログラミングについてみんなで考えていきましょう。 ○何回も同じことを繰り返すより、もっといいやり方があるんじゃないかな。	★児童の考え(タブレット)を電子黒板に映し出す。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【評価】知識・理解 プログラムづくりを通して、正多角形をかくときのきまりを考えることができる。</div>	
まとめる 5分	4 本時の学習のまとめをし、振り返りを行う。	●今日の授業で感じたことや考えたこと、もっとやってみたいことを書きましょう。 ○プログラミングを通して正多角形のきまりに気付くことができた。	・プログラミングや友だちのよさに気づいている児童を全体で共有する。 ・次時は、実際に自分で定規と分度器を使って、正六角形を作図することを伝える。	ノート